

中小企業サポートかながわ



使える! 中小企業支援策を2分で拾い読み

第199号 2017年10月

CONTENTS

特集 神奈川県事業承継ネットワークが始動	02
KIPの総合支援 ~株式会社 清富士	04
よろずの学校	06
CASE STUDY 情熱社長に聞く(平塚信用金庫ご紹介企業) ~株式会社 湘南アルテック 石原社長	08
わたしたちKIPです<Vol.4>資金支援課/ 11月の巡回あっせん相談	10
神奈川県中小企業制度融資/ 小規模企業共済・中小企業倒産防止共済	11
セレクト神奈川100/かながわシニア起業家ビジネスグランプリ/ 第49回技能コンクール	12
第15回神奈川県障害者技能競技大会/ かながわ働き方改革シンポジウム/太陽光発電設備の研修会	13
地域活性化事例紹介	14
省エネに貢献するトライボロジー	15
KIPイベント情報10月~11月	16

特集

神奈川県事業承継 ネットワークが始動

県内112機関が皆さまに寄り添います



皆さんの
意見を聞いて
進んでいく

表紙の人

株式会社 湘南アルテック

代表取締役社長

石原 健次氏(右)

(p.8-9「情熱社長に聞く」)

[事業内容]アルミ 鋳造部品の一貫生産

[本社所在地]平塚市大島

[設立]1948年



公益財団法人

神奈川産業振興センター

「神奈川県事業承継ネットワーク」が始動

県内112機関が
事業承継支援の連携を強化。
皆さまの実情やご意向に寄り添います

中小企業・小規模企業経営者の高齢化進展・後継者不足から廃業を余儀なくされるケースも増え、企業数は減少しています。こうした状況に歯止めをかけ、地域を挙げて事業承継の切れ目無いご支援をするため、市町村、地域の商工会・商工会議所、金融機関、土業団体等の県内112の支援機関による「神奈川県事業承継ネットワーク」が本年7月18日に立ち上がりました。

- 「神奈川県事業承継ネットワーク」は、国(中小企業庁)の平成29年度新規事業「事業承継ネットワーク構築事業」に基づく取り組みで、中小企業の円滑な事業承継を促すため、国のバックアップのもと、神奈川県がリーダーシップをとり、市町村、地域の商工会・商工会議所、金融機関、土業団体等が連携を強化し地域を挙げて、事業承継支援を実施します。
- KIPが「神奈川県事業承継ネットワーク事務局」となり、地域の各支援機関と連携し、県内全域のネットワークのもとに、中小企業・小規模企業の事業承継の早期・計画的な取り組みの促進を図っています。

1 支援担当者向けサポート事業

- ・商工会・商工会議所、金融機関等の支援担当者向けに事業承継に関する研修会を開催し、支援担当者のスキル向上を図ります。

2 事業承継診断の実施

- ・ネットワーク構成機関が事業承継診断を事業者との対話ツールに活用することで、事業承継への早期取り組みを促します。(右ページ参照)

3 事業者向けセミナー

- ・事業者向けのセミナーを【基礎編】【応用編】の2コースで開催しています。



まだ間に合う!セミナーのご案内は
P16をご覧ください。
~どの地域でも、何回でも参加できます。



8月8日開催の支援担当者向け研修

県内中小企業への事業承継の促進と「事業承継診断」の進め方について説明
(参加者:商工会・商工会議所、金融機関の担当者ら78名)

4 普及・広報事業

- ・事業承継への取り組みを促すリーフレット「課題発見・対策シート」等を作成・配布します。

5 調査研究事業

- ・事業承継支援に関する情報提供を兼ねた、アンケート調査の実施や、効果的な事業承継支援手法の研究を行います。

残す？
たたむ？

60歳からの “事業承継診断” をお受け ください

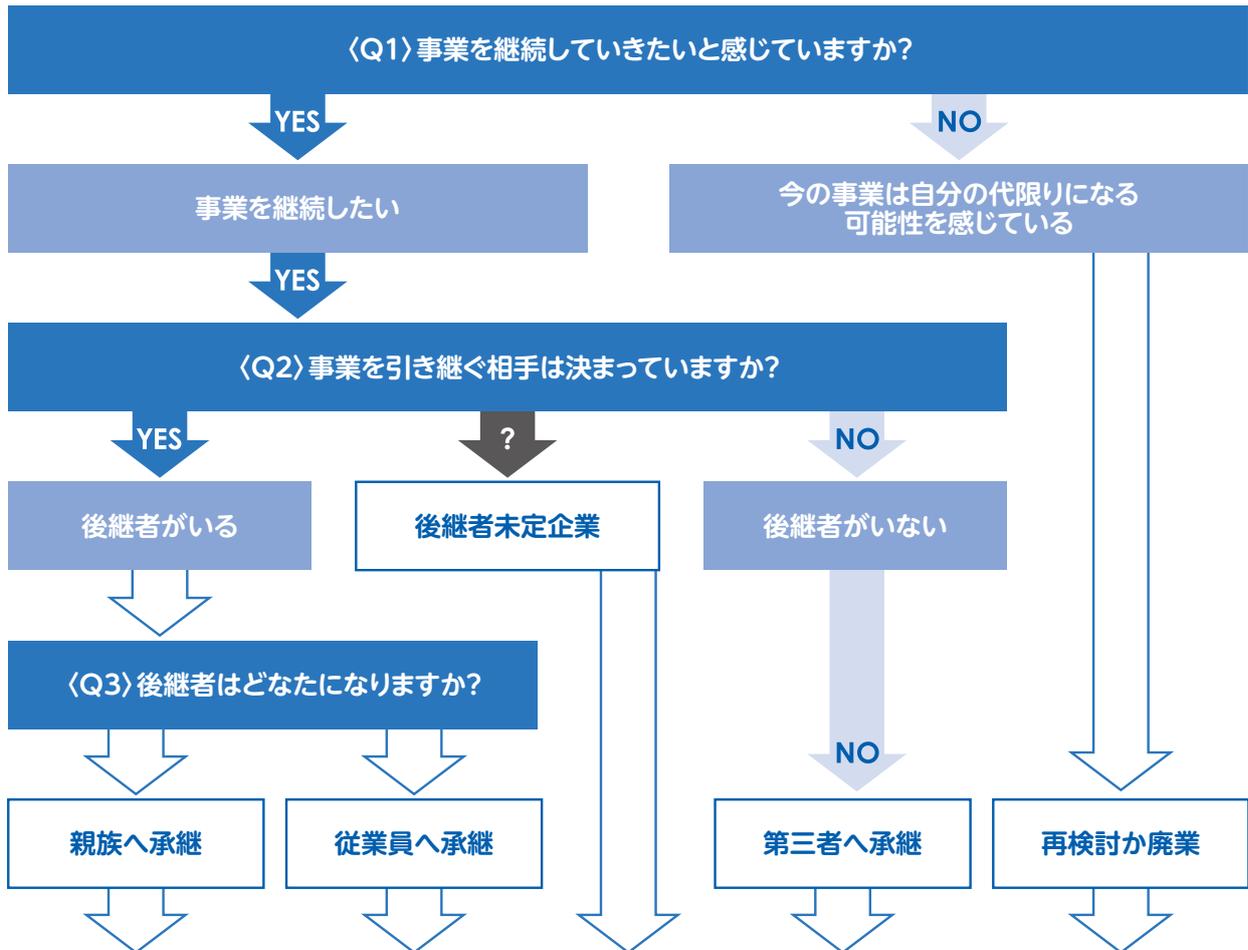
後悔しないために!



社長の最後にして最大の仕事「事業承継」は、どの事業者さまにもいずれ訪れるテーマです。そして、「できるだけ早いうちから」事業承継計画を立てることが、円満で納得のいく承継に繋がります。事業承継ネットワークでは、事業承継を直近の課題としている経営者さまに限らず、広く県内中小企業さまを訪問し、対面による「事業承継診断」をお願いしています。

引き際の判断、未練を残さない引継ぎを、我々「事業承継ネットワーク」と共に今後、身近な支援担当者である商工会・商工会議所の経営指導員や金融機関の担当者が訪問した際に「事業承継診断シート」へのご協力をお願いします。「まだやれる」のか、「会社を譲ってセカンドライフを生きる」のか、事業承継診断で貴社の状況を見つめ直しませんか。

対面の「事業承継診断」に抵抗がある方は、下記の質問に答えてみてください。これから取り組むべき方向が見えてきます。



事業承継についてまずは相談してみませんか？

神奈川県事業引継ぎ支援センター TEL 045(633)5061

事業承継に関する幅広い相談やM&Aのマッチング支援も実施しています。事業承継に精通した専門家が公平・誠実、守秘義務厳守、相談無料で応じています。何なりとお申し付けください。

トータルサポートで企

(公財)神奈川産業振興センター[KIP]の支援の特徴は、①一度関わ支援策をどんだんご提案&サポートする! ②起業～事業承継の「パートナーズ」となる! このようなKIPをご信頼いただ

[Vol.3]

きよふじ
株式会社清富士

伊勢原市鈴川5 TEL 0463(93)0863 <http://www.kiyofuji.co.jp/>

プレス・板金

「KIPの設備貸与で、プレス

創業して63年間で培った技術

昭和29年にプレス加工業として法人を設立した。プレス金型の設計・製造も行えるプレス工場であったことから、当初は電気メーカーの一次下請けとして展開。昭和35～45年の10年間は、国内で使用される電話機コンデンサーケースのほとんどを当社で生産していた。

昭和49年に神奈川県金属プレス工業協同組合に加盟して本社工場を工業団地に移転するとともに、社名を「清富士精工株式会社」から現在の「株式会社清富士」に改めた。昭和54年には受注量の増加に伴い、同工業団地内に第2工場を建設。タレットパンチプレスを導入し、板金加工も手がけるようになる。

その後さらに平成18年には、板金加工を強化するために第3工場を取得し、板金とプレス、機械加工を合わせた複合加工メーカーへの第一歩を踏み出した。以来、不良率0.5%以下を維持していること、プレスから板金への変更提案なども行っていることから、取引先からの信頼が厚いものとなった。

1社依存型取引の怖さ

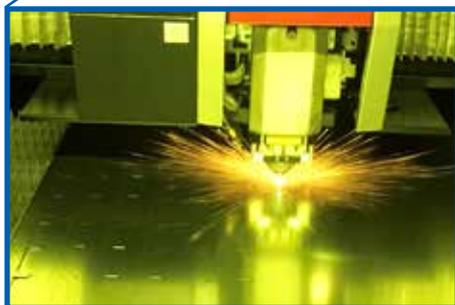
リーマンショック以前は、大手電気メーカーや大手複写機メーカーのグループ会社からの受注が右肩上がりが増加。依存度も全体の5割以上を占めるまでになり、業績も安定した。しかし、景気減退や海外メーカーの台頭などにより取引先のグループ会社が大きな痛手を負う。この流れの中で下請業者の集約が行われ、当社の受注も大幅に減少し、業績は悪化の一途を辿った。

経営者の苦渋の選択

現代表者の島軒博信社長は大学卒業後、他社に10年間勤務したのち、平成18年に清富士に入社する。営業や工場長を経験し、平成26年に代表取締役となるが、その8年間は、会社の業績が悪化を辿った時期と重なった。社長就任後は業績を立て直すため、人員削減、第3工場の売却や単価



レーザー加工機 全景



レーザー加工機 切断時

業を元気にしています!!

った企業さまには、未来を切り開くためにぜひ活用いただきたい各ステージに精通した部門が情報共有&連携し、企業さまのき、事業を拡大する企業さまをシリーズでご紹介します。

・溶接・組立 屋から“総合プレスメーカー”へ」



代表取締役 島軒 博信 氏



の見直しなどに着手。とりわけ、共に働いてきた従業員に会社を去ってもらう判断の際には、強い抵抗を感じて経営者である自身との葛藤があったという。

取引先の開拓にKIPをフル活用

グループ会社からの受注が激減する中で、1社依存体質からの脱却を図る。新規取引先開拓のため、KIPの**取引あっせん**事業によるあっせんを受けた他、**受・発注商談会**にも参加。取引先の確保に奔走した。その成果もあり、現在では30社以上の取引先を確保し、主要取引先の依存度も30%以内で抑えている。

“最新鋭設備”導入へ!

業績改善のため板金部門の強化を決定する。タレットパンチプレスでは対応が厳しい難加工の要求増や、仕上げ面でバリ取り作業などが省けることから、ファイバーレーザー加工機の導入を計画しKIPに相談。生産面での革新を目指した取り組みであり、KIPの**設備導入支援**の利用が決定した。島軒社長は、金融機関の融資枠を使用せず信用保証協会の保証枠を残せる点、そして利用後も経営全般に対する支援がある点にメリットを感じたという。

“最新鋭設備”生かし切る!!

同時に、導入効果を上げるための事業計画を、KIPの**経営アドバイザー派遣**制度を利用し3カ月かけて策定する。

この取り組みの中で、新規取引先の獲得も重要なポイントとなり、ファイバーレーザー加工機をアピールするためのHPの作成を検討。「担当者との簡単なやりとりでHPが作成され、月々3,000円」という安い維持費ですむ**(一財)神奈川県経営者福祉振興財団**の「ホームページ制作サービス 産業Navi」をKIPより紹介され、新規取引先獲得に向けた取り組みを強化した。

「策定した事業計画を社員一丸となり着実に実行することで利益の確保を目指し、単なるプレス屋から総合プレスメーカーなる“ニュー清富士”への変貌を目指している」(社長)。

取引あっせん

新たな発注先や受注先に関するご相談には、経験豊富な職員や専門員が貴社を訪問し、KIPのデータベース(登録企業数:約7,700社)から候補となる取引先を抽出しご紹介しています。データベースへの登録やあっせん紹介に係る費用は無料!

●取引振興課 TEL 045(633)5067

受・発注商談会

受注企業と発注企業が一堂に会する、新規取引先の開拓の場です。今年度も横須賀(7月)・川崎(9月)・相模原(11月)・横浜(2018年2月)で開催。また商談会の参加効果を高めるため、「セミナー」の開催や「個別アドバイス」によりきめ細かくフォローするのもKIPならではの。

●取引振興課 TEL 045(633)5067

設備導入支援

「小規模企業者等設備貸与」では、創業や小規模企業者の経営の革新に必要な設備をKIPが購入し、長期かつ固定損料(金利)で貸与(割賦販売またはリース)しています。保証協会の保証料は不要です。貸与額は100万円~1億円

●資金支援課 TEL 045(633)5066

経営アドバイザー派遣

自社のみでは解決困難な経営課題を抱える企業さまに、中小企業診断士等の専門家を派遣しています。支援内容に対する満足度は96.6%(28年度利用企業95社より回答)。多くの企業さまで改善が実感されています。

●経営総合相談課 TEL 045(633)5201

(一財)神奈川県経営者福祉振興財団

共済保険の提供等の他、中小企業向けホームページ制作では、これまで約3,000社を「産業情報Webサイト 産業Navi」に掲載。ビジネスチャンス拡大の引き合い促進ツールとして活用されています。

●神奈川県経営者福祉振興財団 産業Navi運営事務局
TEL 045(671)7125

「ビジネスオープンスクール」ほぼ毎週開講!

よろずの学校

「教える」と「学ぶ」の関係から『学び会う』関係へ。

神奈川県よろず支援拠点のコーディネーター27名が少人数制の「学びの場」を開講しています。テーマは盛沢山!ビジネスはスピードが命!疑問に思ったことはその場で解決!遠慮は無用、それがルールの学校です。

【参加者“1名”でも開講します!】【授業料は無料】

●神奈川県よろず支援拠点 TEL 045(633)5071



ビジネスというのは、つまるところ

いかに消費者を説得できるかにかかっています。

その時に重要になるのが「言葉の力」です。

今回、よろずの学校を企画するうえで、

少人数制で、何でもその場で疑問に思ったことを言える場を作ることで、『言葉の力磨き』ができるのではないかと考えました。

よろずの講師陣も皆さんと一緒に言葉を磨ける場となることでしょう。

よろずの学校 校長 山崎 隆由
(神奈川県よろず支援拠点チーフコーディネーター)



取引



矢板 ゆき江
コーディネーター

(6/5「勝てる契約書の作り方」)
少人数制のため、参加者の理解度を確認しながら進めることができ、お互いに満足できるセミナーになったと思います。

創業



松本 典子
コーディネーター

(6/12「プチ創業の進め方」)
一方的な学びではなく、参加者同士で悩み、取り組みをシェアできる機会です。ご参加お待ちしております!

地域資源



高橋 玲子
コーディネーター

(6/26「神奈川の農林水産物の活用」)
全員が顔を見合せて双方向コミュニケーションが図れ、連帯感のある大変有意義な時間となりました!

知財



石塚 勝久
コーディネーター

(7/10「他人の商標権を侵害しないように」)
受講者との距離が近く、一人ひとりの理解度や疑問点を確認しながら、話を進行することができました。

補助金



島谷 健太郎
コーディネーター

(7/18「補助金～申請書の作成ポイントから採択後の注意点」)
「暑い天気だったけど参加してよかった、他のよろずの学校も今すぐ申し込みます!」との声をいただきました。

販促



天満 正俊
コーディネーター

(8/7「会社の『魅力』を探してみよう」)
セミナーのようなお伝え形式ではなく、ご自身の事業に落とし込んで理解していただける、受講者の方と共に考える場でした。

資金繰り

よろずの学校実施レポート 8月23日

テーマ：資金繰り管理の進め方
講師：藤村 典子 コーディネーター

後回しになりがちな資金繰り管理、今すぐ始めて!

今回のテーマは「資金繰り管理のポイント」です。管理面は売上と直結しないからどうしても後回しになりがちですが、経営者は今後の資金見通しができるだけでその後の経営判断の質が大きく変わってきます。ということで冒頭では、資金繰り管理に取り組んだことにより業績が大きく回復した事例をお話しました。次に、エクセルを用いた予測資金繰り表(月次)の作り方、日繰り表の作り方、それぞれの管理への活用方法について説明して終了となりました。資金繰り管理はあくまで今後の予測ですので厳密な正確性をもとめるものではありません。そして、記入し続けることで先の予測が立てやすくなります。受講者の皆さまはすぐに資金繰り管理に取り組んでいただきたいと思っています。



R社Fさま

今月創業し、まさにこれから資金繰りをしていくための具体的な方法が分かった。

E社Aさま

資金繰り管理の具体的な進め方が、事例を交えて理解できた。

参加者の声

U社Yさま

資金繰りについて、このままでいいところと改善すべきところの「仕分け」ができた。

K社Yさま

これから起業するので、資金繰りの具体的な方法がとても参考になり、また心構えもできた。

S社Aさま

シンプルな説明で分かりやすかった。

S社Aさま

会社を立ち上げたばかり。今日学んだことを今後使っていきたい。



事業ステージがさまざまな方々にご参加いただきました



「よろずの学校」の今後の予定は、この冊子のP16に毎月掲載しています

「湘南テクノフェア」発起人はこの人！ 金型鑄造で0.8mmをや

「フィン先端の肉厚0.8mmの試作品を見せても、金型で作ったはずがないと信じてもらえませんでした。製造現場を6人で見に来られましたから」。アルミ鑄造品一筋に50年。ギアポンプやエンジンシリンダーといった基幹部品の製造で唯一の技術を誇り、14余りの特許を持つ。「一番川下で仕事を頂くだけでなく、より上」の気概で研ぎ澄ませてきた“旬をつかむ技術力”。その背景を聞いた。



高耐圧のギアポンプ部品



先端肉厚0.8mmのシリンダー



(株)クボタとの共同開発による屋根材切断機

伸るか反るかの大勝負

御社はアルミの鑄造から加工、組立まで一貫生産を行っていますね。

先代である親父^{おやじ}の頃は、鑄造のみを行い、加工業社から仕事を頂いていました。加工で付加価値を付けることができれば這い上がれると考えましたが、やったことのない加工に大きな設備投資をするまで、親父と2年間やりあいました。

1978年に取得した、最初の特許「減圧鑄造法」について教えてください。

40年前までは、弊社は主にエンジンシリンダーを扱い、「砂型」で鑄造していました。しかし砂型は金型に比べてコストが2～3倍かかるのです。4mmが限界の従来の砂型は使用せず、試行錯誤の末、金型内を減圧することで薄肉部までアルミ溶湯を充填する「減圧鑄造法」にたどり着きました。

金型の設計を社長自ら手掛けられたそうですが。

薄肉部1mmに挑みましたが、それまで

設計などやったことがなく、全くの手探りでした。職人の皆さんの意見を聞きながら、自宅で夜中に図面を引くのです。「金型鑄造」は、アルミ溶湯を高圧・高速で注入する「ダイカスト法」とは異なり、溶湯の重力で鑄造します。冷却速度が速いため寸法精度が高く耐圧性に優れます。しかし、1mmまで溶湯を流し込むには高いハードルがありました。就寝時にはいつも枕元にメモ帳を置き、その時も布団に入ってからアイデアが降りてきたのです。湯回り不良をなくすため、先端部から真空ポンプで吸引してはどうかと。

すごい!!

素人だから浮かんだ発想です。0.8mmの薄肉を実現した試作品を持ってお取引先を回っても、金型で作ったことを信じてもらえず、6人の方が工程を見に来られましたよ(笑)。今でこそ言えますが、他所様^{よそさま}が手を出さないような、複雑な形状で寸法の精度を求められる仕事に生き残りを懸けていた。成功さ

せなければ会社が立ち行かないところまで追いつめられていましたから。先代は全社員を集めて、「やる気のある奴だけ俺についてこい」とハッパをかけましたが、心中は「乗るか反るかの大勝負」でした。

加工に踏み出した決断に続く、一大転機だったのですね。

今では一番のお取引先となった小松製作所さんの建機や重機のギアポンプ部品は、絶対に油漏れしない高耐圧性が求められます。当社の「減圧鑄造法」で、耐圧315kg/cm²の製品を造り出すことができました。

大手企業との信頼関係を長期的に維持されているようですが。

技術への自信が、お客さまとの良好なお付き合いに繋がっているともいえます。心臓部である基幹部品は、海外ではまだまだ真似^{まようし}されません。うちだからこそできる、との矜持^{きようじ}がなければ、つまらないでしょう。

ってのけるオンリーワン

株式会社 湘南アルテック 石原 健次 社長

「湘南ひらつかテクノフェア」を仕掛けて

石原社長は「湘南ひらつかテクノフェア」の旗振り役と伺っています。

営業で各地を回る度、我々の知名度の低さに愕然としていました。平塚にはオンリーワンの技術を誇る企業が多くある。足りないのは発信力だと考えました。平塚商工会議所の職員と、平塚市役所労政課(当時)で私と歳が近かった職員の3人が、「テクノフェアでセタを越えよう!」と一致団結しました。

平塚といえばテクノフェア、と!

平塚の企業を巻き込むため、日産車体さんに通い、ご協力を取り付けました。当社のお取引先でなかったから、このような無理もお願いに伺えたのだと思います。平塚市から予算を取り付けるのには苦勞し、「じゃあ分かった、実績を見てくれ!」と第1回目は勤労会館に25社のブースを並べました。第2回は70社にご出展いただき、横浜、川崎に次ぐ規模の工業展になりました。

今年で13回目を数えますね。

先ほども申し上げましたが、開催当初の目的は、平塚の技術力発信。当然、多くの企業が一堂に会するわけで、ビジネスマッチングの側面も出来ました。名刺交換は営業の第一歩です。今はメールなどネット上でのやり取りが多く、逆に生きた情報収集がとても難しい時代。だからこそ、人に会い、ものづくりの現場の「匂」を感じ取ることが成熟したマーケットを勝ち抜く肝だと思っています。そして、わたくし共がお付き合いするのは、次のビジョンに向かって機運が高まるお客さま方です。

お得意さまだけに頼らない。営業力強化ですか。

いや、単純に、名刺を交換しておけば

「近くに来たんですが」と会いに行きやすいでしょ(笑)。これからはテクノフェアを、学生とのマッチングの場にもする必要があります。生産現場は人手不足が喫緊の課題。地元の学生さんに身近に素晴らしい企業があることをぜひ知っていただきたいと、合同企業説明会の開催も考えています。

最後に改めて、テクノフェアのPRを。

「湘南ひらつかテクノフェア」は1コマの出展料を3万円に抑え、ベンチャーなど優秀な企業が100社以上ブースを連ねます。ご来場は無料かつ、必ず何かのキッカケをお持ち帰りいただけますので、ぜひお越しください。



湘南ひらつかテクノフェア2017

日時: 10月26日(木)~28日(土)
10:00~17:00(最終日は16:00)

場所: ひらつかサン・ライフアリーナ(平塚市中堂246-1)

開催規模: 130社、150ブース(最大)

主催: 平塚商工会議所

来場申し込みは公式HPから
<http://www.shokonet.or.jp/hiratuka/techno/>

株式会社 湘南アルテック

TEL 0463(55)4140 平塚市大島430
<http://www.shonan-altec.com/>

●この記事に関するお問い合わせ 平塚信用金庫 本店営業部 TEL 0463(23)1234

わたしたち
KIPです
(Vol.4)
資金支援課

小規模企業者や創業者の方々の 設備導入を積極的にサポート!

業務効率アップ、受注拡大、不良率削減など経営の革新を目指した設備導入を、低利な(1.15%~)設備貸与制度でサポートします。KIPの専門家派遣事業や取引あっせん事業を始めとしたさまざまな支援メニューを絡ませ、導入前の計画作りから導入後の効果分析までご支援しています。



設備導入の検討は、
KIP資金支援課と共に!

TEL 045(633)5066 E-mail:shikin@kipc.or.jp



取引相談会

新たな取引先をご紹介します! 11月の巡回あっせん相談

KIPでは、県内中小企業者等の皆さまの安定的な取引の確保・拡大を図るため、各地区で受・発注取引のあっせん相談を行っています。あっせん相談は、県内7地区の商工会議所等とKIPの川崎・相模原両駐在事務所でも実施しています。新たな販路開拓をお考えの皆さま、お近くの会場をご利用ください。

●取引振興課 TEL 045(633)5067

開催場所	日時	
藤沢商工会議所	7日(火)	13:00 ~ 16:00
小田原箱根商工会議所	8日(水)	13:30 ~ 16:00
横須賀三浦地域県政総合センター	9日(木)	13:00 ~ 16:00
秦野商工会議所	10日(金)	
平塚商工会議所	15日(水)	13:30 ~ 16:00
茅ヶ崎商工会議所	20日(月)	13:00 ~ 16:00
大和商工会議所	21日(火)	
川崎駐在事務所 ※ 1	毎週木曜日	13:00 ~ 16:00
相模原駐在事務所 ※ 2	8日、22日(水)	



- ※ 1 川崎市産業振興会館 6F
「(公財)川崎市産業振興財団」内
- ※ 2 相模原商工会議所商工会館 3F
「相模原商工会議所」内

小規模企業者の皆さま を融資で支援しています

小口零細企業保証資金を
ご活用ください

神奈川県 制度融資

検索

県内で原則1年以上継続して同一事業を営んでいる中小企業者を対象に、事業に必要な資金の借入れを支援する「中小企業制度融資」では、県が貸付原資の一部を負担し、神奈川県信用保証協会が公的な保証人となることで、銀行や信用金庫などの金融機関が低利な融資を行います。今回は、従業員数20人以下の小規模企業者対象の「小口零細企業保証資金」をご紹介します。

- 融資対象者** 従業員数20人(卸売業・小売業・サービス業の場合は5人)以下の小規模企業者
- 資金使途** 運転資金・設備資金
- 融資限度額** 1,250万円(全国の信用保証協会の保証付き融資残高との合計)
- 期間・利率** 1年以内:年1.2%以内(固定金利)
1年超5年以内:年1.7%以内(固定金利)
5年超7年以内:年1.9%以内(固定金利)
- 信用保証** 神奈川県信用保証協会の保証が必要
保証料率は年0.50%~2.20%(県補助後の料率)
- お申込み** 取扱金融機関の窓口へ直接お申込みください。

- 県金融課 金融相談窓口(借入のご相談)TEL 045(210)5695
融資グループ(制度の内容)TEL 045(210)5677
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p845804.html>

小規模企業共済・中小企業 倒産防止共済のご案内

小規模事業者の方々へ
大切なお知らせです!

小規模企業共済とは…

小規模企業の個人事業主、共同経営者または会社等の役員の方が事業の廃業・退任等第一線を退いたときの生活の安定または事業再建等を図る資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

掛金は月額1,000円~7万円の範囲内(500円単位)で自由に選べます。

掛金は全額『小規模企業共済等掛金控除』として課税対象所得から控除でき、また受取り時も税制面で優遇されます。

中小企業倒産防止共済とは…

取引事業者が倒産し、売掛金債権等が回収困難になった場合に貸付けが受けられる制度です。

掛金は5,000円~20万円の範囲内(5,000円単位)で掛金総額800万円まで積立て可能です。掛金は全額損金または必要経費に算入できます。

将来のご自分のために、堅実な両共済制度へのご加入をご検討ください。

※ 両共済制度にご加入の際は一定の要件がございます

- 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 共済相談室
TEL 050(5541)7171 <http://www.smrj.go.jp/kyosai/>

企業立地をサポート! 「セレクト神奈川100」

不動産取得税の軽減や、低利融資
などにより立地を支援します!



セレクト神奈川100ロゴマーク

企業誘致施策「セレクト神奈川100」では、県内に事業所等を新設・増設する中
小企業等の皆さまを支援し、県内経済の活性化と雇用の創出を図ります。

- ①**税制措置**／不動産取得税の2分の1を軽減します。
- ②**企業誘致促進融資**／土地購入や建物整備等に必要な資金を取扱金融機関が県
の定めた条件で融資します。
- ③**企業誘致促進補助金**／土地・建物・設備への投資額に一定割合を乗じた金額を
上限額の範囲内で補助します。補助金額：投資額の5%、上限5億円
- ④**企業誘致促進賃料補助金**／賃料月額の3分の1、上限600万円の範囲内で補助し
ます。

◇ ③④は既存県内事業所と異なる産業や異なる種類の事業所の設置、または県外
からの立地の場合に対象 ◇ 対象産業・要件等の詳細はお問い合わせください。

● 県企業誘致・国際ビジネス課 TEL 045(210)5573

かながわシニア起業家 ビジネスグランプリを開催

シニアの起業をコンテストで
応援します!



昨年度受賞者の皆さん

シニア層による起業を応援するため、「かながわシニア起業家ビジネスグラン
プリ2018」を開催します。シニアの起業家や起業準備者のビジネスプランを募集
し、選考の上表彰式を行います。

募集部門と対象者

【ベンチャー部門】

概ね55歳以上で、起業から10年未満かつ、県内を拠点に活動しているシニア起業家

【プラン部門】

概ね55歳以上で、県内で1年以内の起業を予定している方 ※ 55歳未満の方も応募可

募集締切 11月24日(金)必着

応募方法、選考方法、表彰式等詳細についてはHPをご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f535554/>

● 県産業振興課 TEL 045(210)5639

第49回技能コンクール を開催します!

県内の中堅技能者が技能を
競い合います!



県内の中堅技能者の技能向上や技能継承の促進を目的として「第49回技能コ
ンクール」を開催します。技能者達の技と熱い真剣勝負をぜひご覧ください。

開催日 11月11日(土)10:00~15:45(競技時間は10:00~14:00)

会場 県立産業技術短期大学校 西キャンパス(横浜市旭区中尾2-4-1)

競技種目 建築大工、印章彫刻など11種目 ※ 参加申込状況などにより実施できない場合あり

● 県産業人材課 技能振興グループ TEL 045(210)5720
神奈川県技能士会連合会 TEL 045(633)5417

第15回神奈川県障害者 技能競技大会開催

アビリンピック神奈川2017を
今年度も開催します。



障 害のある方々が、日頃職場などで培った技能を競い合うことにより、職業能力の向上、及び社会の理解と認識を深め、積極的な社会参加と雇用の促進を図ることを目的として、10月に神奈川県障害者技能競技大会(アビリンピック神奈川)を開催します。ぜひ、選手の真剣な姿を会場でご覧ください。

開催日 10月26日(木) 13:00~15:30 ※ 機械CAD競技種目のみ実施
10月28日(土) 9:00~15:30

会場 神奈川県障害者職業能力開発校

競技種目 DTP、機械CADなど12種目 ※ 参加申込状況などにより実施できない場合あり

●(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 神奈川支部 高齢・障害者業務課

TEL 045(360)6010 FAX 045(360)6011

県産業人材課 技能振興グループ

TEL 045(210)5720 FAX 045(201)6952

かながわ働き方改革 シンポジウム

中小企業における働き方改革の
ヒントがここに!



大久保 幸夫 氏

企 業における働き方改革を推進するため、内閣官房「地域働き方改革支援チーム」構成員の大久保幸夫氏をお招きし、講演とパネルディスカッションを開催します。ぜひお越しください。

日時 11月6日(月)13:30~16:30

会場 関内ホール 小ホール(JR関内駅北口から徒歩約6分)

内容 第1部 基調講演「経営戦略としての働き方改革」
第2部 先進企業経営者によるパネルディスカッション

講師 大久保 幸夫 氏(リクルートワークス研究所 所長)

主催 神奈川労働局、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市

申込み <http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/kikaku/wlb/> より

●横浜市こども青少年局 企画調整課 TEL 045(671)4281

県労政福祉課 TEL 045(210)5746

太陽光発電設備の設計・ 施工、保守点検事業者さまへ

受講料無料の設計・施工研修会及
び保守点検研修会を開催します!

平 成29年度より「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が改正、施行されました。これにより、太陽光発電事業を長期、安定的かつ効率的に実施していくため、適切な設計・施工や保守点検が求められています。そこで、地域の事業者の皆さまに向けた受講料無料の設計・施工研修会と保守点検研修会を開催いたしますので、この機会にぜひ、ご参加ください。

開催日 10月23日(月)

開催場所 崎陽軒本社ヨコハマジャスト1号館8階3号室

スケジュール 設計・施工研修会(13:00~15:00)
保守点検研修会(15:30~17:30)

申込み 神奈川県エネルギー課のホームページより申込み

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f300183/p1146586.html>

※ 定員(60名程度)を超える申込みがあった場合は、抽選となります

●県エネルギー課 太陽光発電グループ TEL 045(210)4090

賑わいの秘訣は商店街の ブランドづくりにあり!

地域の資源を活用してブランド
づくりに取り組んだ商店街を紹介



【事例1】五番街オクデラ・フロンティア・ゲート5とサッカーボール仕様の街路灯



【事例1】横浜FC選手によるサッカー教室



【事例2】ダンボールをリサイクルした
手作りの灯ろう



【事例2】秋のハロウィンにスタッフとして
参加してくれた大学生

■事例1 「横浜FCサポートタウン」としてブランド化

横浜駅西口五番街商店会協同組合(横浜市)

居酒屋などの飲食店が多い中、昼間の時間帯に来てもらえそうな顧客層(家族連れ)を新たに開拓するため、サッカーJ2「横浜FC」を地域の資源として活用し、①横浜FCとの共催によるフットサル大会やサッカー教室の開催、②横浜FCの試合当日に飲食店での割引を行う応援フェアの実施、③サッカーボール仕様の街路灯やアーチの整備等に取り組むことで、「横浜FCサポートタウン」としてブランド化しました。

→すると…

- ・今まであまり見かけなかった家族連れが来街し、飲食店を利用するようになりました。
- ・マスメディアに取り上げられたことで、横浜FCを応援している商店街として認知度が高まりました。

■事例2 年間イベントに統一コンセプトを持たせエリアをブランド化

上町商店街連合会(横須賀市)

イベント開催時だけでなく、イベント開催時以外も来街者を増やし、継続的な賑わいをつくるため、地域のイベント「夏の灯ろうまつり」、「秋のハロウィン」、「春の桜まつり」を地域の資源として活用し、①“うわまち浪漫”という統一コンセプトで年間イベントを実施、②イベントにおいて100年続く商店や手づくりの店、職人を全面的にアピール、③地元のNPOや大学等と連携して、上町地区の活性化ビジョンの研究・企画やイベントの企画を実施することで、「親しみやすい街」、「匠の街」として上町エリアをブランド化しました。

→すると…

- ・個店の来客数が増加し、店主の意識も高まりました。
- ・女性や若手の参加が増え、商店街組織が活性化しました。
- ・他組織との連携・協力体制が構築できました。

■おわりに

ブランドをつくり上げるにあたって、自分たちの強みや独自性を考え抜き、また、他団体との連携等に取組むことで、商店街に賑わいを生み出しています。

今回ご紹介した以外の事例は下記のサイト※で見られます。紹介事例をヒントにして、あなたの商店街でもブランドづくりに取組んでみてはいかがでしょうか。

※<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p1029288.html>内「活用事例」

●県商業流通課 商業まちづくりグループ TEL 045(210)5612

省エネに貢献するトライボロジー トライボロジー関連技術の研究活動と技術支援の推進

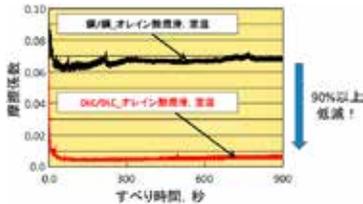


図1 オレイン酸潤滑下における鋼とDLCの摩擦係数経時変化の比較

トライボロジーとは

輸送機器、産業機械等の動力伝達部には常に二物体間の接触によるしゅう動が起こり、少なからず摩擦によるエネルギーロスが生じています。これは摩擦を誘発する要因ともなり、摩擦摩擦抑制のためには潤滑技術が必要となります。これら、摩擦・摩耗・潤滑を取り扱う科学技術分野をトライボロジーと呼びますが、この分野に関して、当所では、超低摩擦化技術の研究活動とトライボロジー試験機等を用いた試験サービスの両方を行っています。次に、それぞれの最近のトピックスを紹介します。

最新の研究成果

摩擦を抑制する技術の一つとして注目されている、炭素系硬質被膜のDLC (Diamond-Like Carbon) 膜は、生態系に有害な元素を含まず、耐摩耗性があることから、さまざまな分野で実用化が進んでいます。当所では、炭素のみからなるDLC膜を、オリーブオイルの主成分であるオレイン酸で潤滑させることにより、図1のような摩擦係数0.01以下の超潤滑現象が発現することを見出しました。また、この現象の発現には、すべり面に形成される酸化グラフェンのごく薄い層が関係していることが、フランスのリヨン工科大学の共同研究者によって発見され、このほど、著名な科学雑誌“Nature Scientific Reports”で発表されました。本技術は自動車をはじめとする種々の産業機械のしゅう動部品の摩擦を大幅に低減できるため、将来、省エネルギー技術への貢献が期待されます。



写真1 トライボロジー多機能試験機
(米BRUKER社製 UMT TriboLab)

新型「トライボロジー試験機」の導入

トライボロジー技術に関連したあらゆるニーズにお応えするため、写真1のようなトライボロジー多機能試験機(米 BRUKER社製 UMT TriboLab)を導入しました。本装置は表1のように、①ボール・ピンオンディスク試験、②ブロックオンリング試験、③ファレックス試験、④スクラッチ試験等、ASTM規格に準拠したさまざまなトライボロジー試験が可能です。摩擦係数の測定や摩耗試験をはじめ、耐焼き付き性、極圧性、潤滑剤の潤滑性評価、硬質薄膜の密着性評価等にご利用いただけます。また最大荷重が200kgとなっており、高荷重での試験も可能になりました。

当所では上記装置のほか表1の試験機、合計3台を保有しており、さまざまな形状・寸法・試験条件等に対応可能な体制をとっています。

保有設備	試験形態	荷重範囲
UMT TriboLab (BRUKER)	①ボール・ピンオンディスク試験 (回転式、往復式) ②ブロックオンリング試験 ③ファレックス試験 ④スクラッチ試験	0.2-2000N
Tribometer (CSEM)	①ボール・ピンオンディスク試験 (回転式、往復式)	1-30N
摩耗試験機 (エー・アンド・ティ)	②ブロックオンリング試験	1-200N

表1 保有設備と試験形態

試験のご利用について

ご利用にあたっては、まずお客さまの試験目的をお伺いし、それに応じた試験機を選択を行い、試料寸法・試験条件を決定した後、試験実施となります。試験機により試験片形状や試験条件、出力情報等が異なりますので、詳しくは試験担当までご相談ください。

● (地独) 神奈川県立産業技術総合研究所 機械・材料技術部材料物性グループ
TEL 046(236)1500(代表)

EVENT information

KIP イベント情報

10月≫11月

イベントの詳細・お申し込みは

<http://www.kipc.or.jp>

※予定情報につき、詳細はこちらでご確認ください

セミナー

よろず支援拠点: yorozu@kipc.or.jp

一週間で新たな引き合いを獲得する
会社案内の作り方

- ▶開催日時: 10月13日(金)15:00~17:00
- ▶場所: 神奈川中小企業センタービル
- ▶講師: 株式会社 大谷秀樹事務所 代表取締役 大谷 秀樹 氏

セミナー

よろず支援拠点: yorozu@kipc.or.jp

やさしい決算書の読み方

- ~元銀行マンによる半日でポイントをつかむ方法~
- ▶開催日時: 10月16日(月)9:45~11:45
- ▶場所: 藤沢商工会館ミナパーク
- ▶講師: 井上 真伯 氏

セミナー

事業承継ネットワーク: shokei@kipc.or.jp

事業承継セミナー[支援担当者向け]

- ~事業承継計画の作成について
- ▶開催日時: 10月16日(月)14:00~16:30
- ▶場所: 横須賀商工会議所
- ▶講師: 田村 洋平 氏



セミナー

事業承継ネットワーク: shokei@kipc.or.jp

事業承継セミナー[支援担当者向け]

- ~事業承継計画の作成について
- ▶開催日時: 10月17日(火)14:00~16:30
- ▶場所: 相模原市立産業会館
- ▶講師: 田村 洋平 氏



セミナー

経営支援課: management@kipc.or.jp

新事業成功講座(全3日)

- ~横浜市特定創業支援事業
- ▶開催日時: 10月28日・11月18日・25日 いずれも土曜日 10:00~17:00
- ▶場所: 神奈川中小企業センタービル
- ▶講師: KIPマネージャー

セミナー

国際課: kokusai@kipc.or.jp

フィリピン ビジネス勉強会[第2回]

- ①フィリピンでの事業上知っておきたい手続き ②進出企業事例発表
- ▶開催日時: 11月8日(水)13:30~16:30
- ▶場所: 神奈川中小企業センタービル
- ▶講師: ①(予定)朝日税理士法人フィリピン事務所/株式会社アイキューブ 代表 坂本 直弥 氏(公認会計士)
② 株式会社西山製作所 取締役営業統括 松山 厚志 氏

セミナー

事業承継ネットワーク: shokei@kipc.or.jp

事業承継セミナー[事業者向け]

- ~事業承継に必要な相続・贈与税の知識
- ▶開催日時: 11月7日(火)14:00~16:30
- ▶場所: 相模原市立産業会館
- ▶講師: 柴田 健次 氏



セミナー

事業承継ネットワーク: shokei@kipc.or.jp

事業承継セミナー[事業者向け]

- ~事業承継に必要な相続・贈与税の知識
- ▶開催日時: 11月14日(火)10:00~12:30
- ▶場所: 小田原箱根商工会議所
- ▶講師: 柴田 健次 氏



よろずの学校

よろず支援拠点: yorozu@kipc.or.jp

ほぼ毎週開講!「よろずの学校」~学び“会”場づくり。疑問に思ったことはその場で発言→解決! 1名でも開講します(各先着10名)

- ▶場所: 神奈川中小企業センタービル ▶講師: 神奈川県よろず支援拠点のコーディネーター ※内容が変更になる場合があります



簡易裁判所利用のすすめ

- ▶開催日時: 10月12日(木)16:00~17:00
- ▶講師: 池田 耕介 氏



創業に関する税金の知識

- ▶開催日時: 11月16日(木)16:00~17:00
- ▶講師: 桐澤 寛興 氏



知らなきや損する!
老舗の品物づくりと売り方の極意

- ▶開催日時: 10月16日(月)16:00~17:00
- ▶講師: 加藤 茂 氏



未払い残業にならないための注意点

- ▶開催日時: 11月20日(月)16:00~17:00
- ▶講師: 佐藤 かおり 氏



中小企業でもできる営業力強化
実践編: ①営業戦略編 ②営業ツール編

- ▶開催日時: ①10月23日(月) ②11月27日(月)
いずれも16:00~17:00
- ▶講師: 坪田 誠治 氏



労働問題について

- ▶開催日時: 11月30日(木)16:00~17:00
- ▶講師: 狩倉 博之 氏

「中小企業サポートかながわ」はKIPのホームページにも掲載しています。冊子をご希望の方には、毎号お届けします(無料)。郵便番号/所在地/企業名/担当者名(個人も可)/部数を、右記にご連絡ください。

編集/発行

公益財団法人 神奈川産業振興センター(KIP)

Kanagawa Industrial Promotion Center

横浜市中区尾上町5-80

神奈川中小企業センタービル

TEL 045(633)5201

FAX 045(633)5194

<http://www.kipc.or.jp>

